



8 沼津の歴史と文化を耕す会

史跡の案内看板の整備

計画達成度
100%

団体・法人データ
代表者：世古真一
構成人数3名
活動歴2年
主な活動地：山王前地区

事業目的 沼津市の文化財の整備

沼津市の文化財の整備をきっかけとして、自治会、地域住民、地権者、文化財センター等とのつながりを深め、その情報を市民に広報誌、発信することを目的として地域コミュニティを形成していく活動。初年度の活動目的は平作地蔵尊の史跡案内看板と石碑の改修と花壇の整備。初年度は平作地蔵尊の由来を現代の地域住民と観光客に適切に伝えることを目的として、看板・花壇・石碑の清掃などの整備により慰霊と地域住民のオアシス的な場所としつつメディアを通して市民への情報発信をする。

現状と目標 看板の老朽化 住民の高齢化による伝承難の克服

【問題点】

- ・ 旧東海道を歩く見物客が数多く訪れているにもかかわらず、看板が老朽化して字が読みにくくなっている。
- ・ 十数年前までは山王前自治会の活動として、保存会や慰霊祭などが運営されていたが、住民の高齢化により、数年前から諸々の理由により有志だけの活動となってしまい、伝承がなかなかできなくなってきた。

【活動目標】

- ・ 整備と文面を工夫することによって、適切な歴史と文化の伝達に寄与したい。
- ・ 若年層への地域の歴史と文化を途絶えさせないきっかけとしたい。
- ・ 看板の制作についてはQRコードの活用なども検討し看板を見ながら、ウェブサイトと連動した情報を見られるようにしたい。
- ・ 東京の歌舞伎座とのつながりを模索したい。平作地蔵が舞台となる歌舞伎の演目「沼津」は地元の人にもあまり知られていない演目であるが、そのようなつながりを知らせることで地域住民の誇りとして啓蒙したい。

活動と成果 活動の成果は100%達成

- ☆ 史跡歴史と文化の地域住民と観光客に対しての新たな提案 → QRコード付きの看板を提案し、歌舞伎の舞台や歌舞伎演目の詳細（伊賀越道中双六）のウェブサイトスマホですぐにみられるようにできた。
- ☆ 地域につながりを持たせる → 地域住民に興味をもたせることができ、新看板の設置はもちろんのこと、花壇での芋掘り会の実施などで、地域住民との繋がりや明治史料館、文化財センターとの関係もできたため今後も他の文化財との意識を持ってもらうための活動の基盤が構築できた。
- ☆ 地域住民のための環境整備 → 石碑の洗浄は環境整備として効果があった。



振り返り課題 沼津垣の文化との融合

平作地蔵の看板の地紋に沼津垣を採用したが、将来的には平作地蔵尊から沼津垣の文化を発信していきたい。そのために、シルバー人材センターが毎年主催している、沼津垣の制作講習会に参加しそこで制作した沼津垣を展示できるようにしたい。沼津垣は持続可能性を持った文化である。合わせて地蔵尊に放置されている64年前の杉の木でできた電柱を再利用し通行人の憩いの場としてのベンチの制作も視野に入れている。

沼津垣の文化発信

